

時代を超えるランドスケープ。

緑のエイジングで俯瞰する造園の30年

【キーノートスピーカー：基調講演】

■作品群で俯瞰する時代の流れ、これからのランドスケープ・造園技術者の展望

戸田 芳樹氏

株式会社戸田芳樹風景計画代表取締役



公益社団法人日本造園学会関東支部設立30周年記念大会

入場無料

会場：東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂
平成25年10月27日（日）15時20分～17時50分

【オブリガートスピーカー：話題提供】
■アーバンデベロップメントの魔法の緑

山本和彦氏

森ビル株式会社特別顧問

（取締役副社長執行役員）、森ビル都市企画社長

■東京の水風景を呼び起こすパイオニア

多田正見氏

江戸川区長

■“人”のつくった森／90年の森に見る自然の力・人の力

濱野周泰氏

東京農業大学教授

■閉会の挨拶・コメンテーター

小木曽裕

株式会社URリンケージ 執行役員

【ナビゲーター：進行役】

町田 誠

国土交通省都市局公園緑地
景観課緑地環境室長

【司 会】**阿部伸太**：東京農業大学

時代を超えるランドスケープ

—緑のエイジングで俯瞰する造園の30年—

日 時： 2013年10月27日（日） 15:20～17:50
場 所：東京農業大学世田谷キャンパス百周年記念講堂

明治6年の太政官布達から140年。その時代時代によって、都市の緑はどのように創出され、守られてきたか。今、日本の国民一人ひとり、6畳間に匹敵する広さの都市公園を持つに至った。しかし、緑あふれる豊かで潤いある都市に暮らしているという実感を持っている人はどのくらいいるだろうか。一方で、民間の事業者が様々な形で作り出すまちの緑が、私たちの生活に格段の居心地のよさをもたらしていることを、私たちは既に体験している。また、公園の管理においても、様々な創意工夫が、多様な主体の参画によってなされ、これまでにない魅力が生まれつつあるのを目の当たりにしている。

日本造園学会関東支部設立30年にあたり、都市の緑を取り巻く状況が、大きく変化しつつあるこの30年間を、緑のデザイン、緑溢れるデベロップメント、緑の都市づくり、永遠の森づくりなどの観点から、時代を牽引されてきた代表者に語っていただき、2020年に決定した東京オリンピックも視野に入れ、これから将来に向かって発展的に広がる造園・ランドスケープのビジョンをシンポジウム参加者全員で展望・共有したい。

【キーノートスピーカー：基調講演】

■作品群で俯瞰する時代の流れ、これからのランドスケープ・造園技術者の展望

・戸田芳樹

氏：株式会社戸田芳樹風景計画代表取締役、日本造園学会関東支部副支部長、東京農業大学客員教授

◇国の内外問わず多くのプロジェクトに参加し、この30年余の間に多くの表彰を受けたさまざまな作品群を残している。生き物をベースに美しい風景と豊かな人間生活の実現を一貫して追求してきたその作品群を辿りながら、この30年を俯瞰して、ランドスケープ界の来し方を振り返るとともに、これからランドスケープに携わる技術者が社会に対して何を発信していくべきか、氏のアグレッシブな視界で展望する。

【オブリガートスピーカー：話題提供】

■アーバンデベロップメントの魔法の緑

・山本和彦

氏：森ビル株式会社特別顧問（取締役副社長執行役員）、森ビル都市企画社長

◇当時の都市再開発事業としては最大級の規模でありながら、緑を纏い、地域に開かれたアークガーデンを擁した最先端の複合施設（83年着工、86年竣工）。その後、六本木ヒルズへの進化など、森ビルの都市開発戦略、商業業務系分野における緑化技術の進化、緑の価値とは…。緑の都市開発のパイオニアでありトップランナーであり続ける理念・哲学を聴く。

■東京の水風景を呼び起こすパイオニア

・多田正見

氏：江戸川区長

◇小松川境川親水公園（江戸川区）（84年完成）、古河親水公園（74年完成）、一之江境川親水公園（95年完成）。そして83年「緑の都市賞」審査委員長賞（水と緑のネットワークづくり～江戸川区における親水公園の創造～）、97年「緑の都市賞」内閣総理大臣賞（緑の都市づくり部門）受賞など、歴史的独自性のあるウォータースケープが地域の個性を生み出したグリーンインフラストラクチャーとなった。その立役者の想い。

■“人”のつくった森／90年の森に見る自然の力・人の力

・濱野周泰

氏：東京農業大学教授、日本造園学会関東支部副支部長

◇明治神宮創建90余年。近代造園学の父でもあり造園学会を設立された上原敬二先生が手掛けられた永遠なる森。“人”がつくった森として知られる明治神宮の森には、造園植物が自然に育つ力だけでなく、その森をつくろうとする人々の想いと取り組み、そして外苑とユニットで計画された神宮経営のシステムなど、これからの地域づくりに示唆を与える“技術”が内在している。

【閉会の挨拶・コメンテーター】

小木曽

裕

氏：株式会社URリンケージ 執行役員

日本造園学会関東支部長／東京農業大学客員教授

【ナビゲーター：進行役】

町田

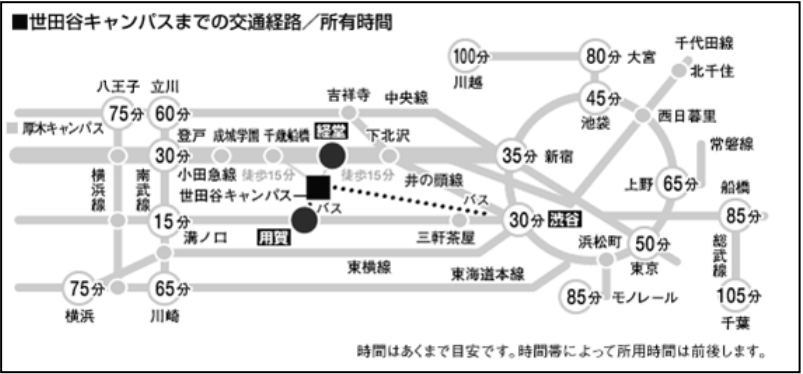
誠

氏：国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長

日本造園学会関東支部副支部長

【司 会】阿部伸太：東京農業大学准教授

Access Information



山の手線

- ◆ 渋谷駅下車（渋谷駅西口）

バス＜渋谷駅～農大前＞（30分位）

- 小田急バス 成城学園前駅西口行…………（渋24）
調布駅南口行…………（渋26）
- 東急バス 成城学園前駅西口行…………（渋24）
祖師ヶ谷大蔵駅行…………（渋23）

小田急線

- ◆ 経堂駅下車 南へ徒歩15分
- ◆ 千歳船橋駅下車 南へ徒歩15分
- バス＜千歳船橋駅～農大前＞（5分位）
渋谷駅行（渋23）、等々力操車所行（等11）
用賀駅行（用01）

東急田園都市線

- ◆ 用賀駅下車
徒歩20分
- バス＜用賀～農大前＞（10分位）
世田谷区民会館行（園02）、祖師ヶ谷大蔵駅行（用01）

東急東横線

- ◆ 田園調布駅下車
バス＜田園調布駅～農大前＞（30分位）
世田谷区民会館行（園02）



◆問い合わせ：阿部伸太（東京農業大学）
TEL：03-5477-2664
E-mail：shita@nodai.ac.jp